

2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月9日

上場会社名 ビジネス・ワンホールディングス株式会社
 コード番号 4827 URL <http://www.businessone-hd.co.jp>

上場取引所 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 朝樹
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 松元 誠二郎

TEL 092-534-7210

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	9,149	22.4	1,228	42.2	1,096	41.4	740	50.8
2022年3月期第3四半期	7,473	0.8	863	58.1	775	67.7	491	56.2

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 741百万円 (50.8%) 2022年3月期第3四半期 491百万円 (56.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	178.53	
2022年3月期第3四半期	118.43	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	25,749	4,400	17.1	1,060.67
2022年3月期	20,899	3,680	17.6	887.06

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 4,400百万円 2022年3月期 3,680百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		5.00	5.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	9.2	1,000	5.4	900	8.8	560	9.5	134.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	4,148,900 株	2022年3月期	4,148,900 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	株	2022年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	4,148,900 株	2022年3月期3Q	4,148,900 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症は感染拡大傾向にありますが、ウィズコロナの生活様式が浸透しつつあり、徐々に社会経済活動の正常化が進んでおります。一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料やエネルギー価格の高騰、世界的な金融引き締めを背景とした円安の進行などにより、景気下振れリスクが高まり、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループは、収益構造の強化・収益基盤の拡大を目的として、各事業部門の永続的な収益確保を意識した業績管理をより一層徹底し、グループ全体の業容拡大を目指してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高9,149,260千円（前年同期比22.4%増）、営業利益1,228,089千円（同42.2%増）、経常利益1,096,931千円（同41.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益740,722千円（同50.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①不動産事業

競売事業が堅調に推移したことに加え、大口の販売用不動産の売却があり増収増益となりました。

引き続き在庫回転期間の短縮と良質な在庫資産の取得に努めてまいります。

当第3四半期連結累計期間における不動産事業の売上高は6,573,733千円（前年同期比23.0%増）、セグメント利益は894,979千円（同35.3%増）となりました。

②マンション管理事業

分譲マンションを中心としたマンション管理事業を行っております。今後も、管理棟数・管理戸数の増加による企業基盤の強化を図るとともに、引き続き「安心」「誠実」「対応力」の3つのキーワードを心がけ、高品質なサービスの提供に努めてまいります。

当第3四半期連結累計期間におけるマンション管理事業の売上高は1,239,808千円（前年同期比13.8%増）、セグメント利益は2,986千円（前年同期はセグメント損失28,486千円）となりました。

③賃貸事業

当社グループが保有する賃貸等不動産による賃料収入事業と、マンション管理物件の賃貸仲介事業など、グループの営業資産・情報力を基にシナジー効果を最大限に発揮させ、収益につなげる事業を拡大して行っております。

当第3四半期連結累計期間における賃貸事業の売上高は878,749千円（前年同期比6.6%増）、セグメント利益は299,753千円（同2.8%減）となりました。

④家具・家電レンタル事業

賃貸住宅入居者向けの他、賃貸物件オーナー・法人向けに家具・家電のレンタル事業を展開しております。

当第3四半期連結累計期間における家具・家電レンタル事業の売上高は401,807千円（前年同期比22.8%増）、セグメント利益は16,091千円（前年同期比1,382.7%増）となりました。

⑤ソフトウェア事業

パッケージソフト販売部門において、既存パッケージソフトのiPad版のリリースなど商品ラインナップが拡充・強化されており顧客ニーズに合わせた販売活動を推進しております。また顧客サービスを充実させるべくパッケージソフトの操作指導（スクール）やサポートセンターによる既存ユーザーへの電話サポート、バージョンアップ案内などの保守分野における企画・営業活動を展開することで、複数年契約や保守契約などの収益基盤の拡充を図っております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は129,405千円（前年同期比8.8%増）、セグメント利益18,870千円（同213.8%増）となりました。

⑥ファイナンス事業

事業者向け不動産担保貸付を主として行っております。

当第3四半期連結累計期間における売上高は166,139千円（前年同期比120.1%増）、セグメント利益は85,140千円（前年同期比223.1%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は15,055,589千円となり、前連結会計年度末に比べ3,467,341千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が367,374千円、販売用不動産が1,930,139千円、営業貸付金が1,105,420千円増加したことによるものであります。固定資産は10,693,829千円となり、前連結会計年度末に比べ1,382,725千円増加いたしました。これは主に建物及び構築物が358,944千円、土地が978,342千円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は25,749,418千円となり、前連結会計年度末に比べ4,850,067千円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は14,020,392千円となり、前連結会計年度末に比べ3,635,064千円増加いたしました。これは主に短期借入金が3,544,563千円、1年内返済予定の長期借入金が57,120千円増加したことによるものであります。固定負債は7,328,421千円となり、前連結会計年度末に比べ494,734千円増加いたしました。これは主に長期借入金が487,692千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は21,348,813千円となり、前連結会計年度末に比べ4,129,798千円増加いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,400,604千円となり、前連結会計年度末に比べ720,268千円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益740,722千円、剰余金の配当20,744千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は17.1%（前連結会計年度末は17.6%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月11日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想等に関する事項につきましては、現時点では変更ございません。今後の業績の進捗状況に応じて、修正が必要と判断された場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,703,967	3,071,342
売掛金	125,405	175,041
販売用不動産	6,414,560	8,344,700
原材料及び貯蔵品	1,622	1,932
1年内回収予定の長期貸付金	1,232	1,604
営業貸付金	2,132,500	3,237,920
その他	213,322	227,650
貸倒引当金	△4,365	△4,603
流動資産合計	11,588,247	15,055,589
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,782,398	4,141,343
土地	4,745,526	5,723,868
その他	221,746	252,215
有形固定資産合計	8,749,672	10,117,427
無形固定資産		
のれん	109,366	87,621
その他	9,727	8,320
無形固定資産合計	119,093	95,942
投資その他の資産		
投資有価証券	215,668	216,085
長期貸付金	2,917	1,602
繰延税金資産	165,959	197,480
その他	60,793	68,290
貸倒引当金	△3,000	△3,000
投資その他の資産合計	442,338	480,459
固定資産合計	9,311,104	10,693,829
資産合計	20,899,351	25,749,418
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	57,444	57,110
短期借入金	8,423,503	11,968,066
1年内返済予定の長期借入金	885,147	942,267
リース債務	6,010	3,401
未払法人税等	230,618	232,672
賞与引当金	84,400	86,400
その他	698,205	730,475
流動負債合計	10,385,328	14,020,392
固定負債		
長期借入金	6,678,432	7,166,124
リース債務	8,562	6,225
その他	146,692	156,072
固定負債合計	6,833,687	7,328,421
負債合計	17,219,015	21,348,813

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,034	436,034
利益剰余金	3,244,204	3,964,182
株主資本合計	3,680,238	4,400,216
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97	387
その他の包括利益累計額合計	97	387
純資産合計	3,680,336	4,400,604
負債純資産合計	20,899,351	25,749,418

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）
売上高	7,473,699	9,149,260
売上原価	5,303,101	6,504,781
売上総利益	2,170,597	2,644,479
販売費及び一般管理費	1,306,977	1,416,389
営業利益	863,620	1,228,089
営業外収益		
受取利息	11,523	3,465
受取配当金	3	577
受取保険金	10,240	13,064
受取給付金	5,500	—
その他	3,998	7,951
営業外収益合計	31,265	25,058
営業外費用		
支払利息	111,368	140,392
その他	7,758	15,824
営業外費用合計	119,127	156,216
経常利益	775,758	1,096,931
税金等調整前四半期純利益	775,758	1,096,931
法人税、住民税及び事業税	281,816	387,276
法人税等調整額	2,602	△31,067
法人税等合計	284,418	356,208
四半期純利益	491,339	740,722
親会社株主に帰属する四半期純利益	491,339	740,722

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）
四半期純利益	491,339	740,722
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	290
その他の包括利益合計	—	290
四半期包括利益	491,339	741,012
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	491,339	741,012
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間において非連結子会社でありました株式会社アースは重要性が増したため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り）

前連結会計年度の有価証券報告書の（重要な会計上の見積り）に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りについて重要な変更はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント					
	不動産事業	マンション 管理事業	賃貸事業	家具・家電 レンタル事業	ソフトウェア 事業	ファイナンス 事業
売上高						
一時点で移転される財	5,317,580	191,023	98,972	—	64,733	23,615
一定の期間にわたり移転 される財	4,900	897,975	59,662	—	54,164	—
顧客との契約から生じる 収益	5,322,480	1,088,998	158,635	—	118,898	23,615
その他の収益	23,095	—	665,555	327,274	—	51,879
外部顧客への売上高	5,133,834	964,659	761,314	326,745	115,543	75,495
セグメント間の内部売上高 又は振替高	211,741	124,338	62,876	529	3,355	—
計	5,345,575	1,088,998	824,190	327,274	118,898	75,495
セグメント利益又は損失 (△)	661,430	△28,486	308,269	1,085	6,013	26,350

（単位：千円）

	報告セグメント	その他（注1）	合計	調整額（注2）	四半期連結損益計算 書計上額（注3）
	計				
売上高					
一時点で移転される財	5,695,925	91,865	5,787,791	△269,743	5,518,048
一定の期間にわたり移転 される財	1,016,702	—	1,016,702	△75,008	941,694
顧客との契約から生じる 収益	6,712,628	91,865	6,804,494	△344,752	6,459,742
その他の収益	1,067,804	5,977	1,073,782	△59,825	1,013,956
外部顧客への売上高	7,377,592	96,106	7,473,699	—	7,473,699
セグメント間の内部売上高 又は振替高	402,841	1,736	404,577	△404,577	—
計	7,780,433	97,843	7,878,276	△404,577	7,473,699
セグメント利益又は損失 (△)	974,661	△15,888	958,773	△95,153	863,620

（注）1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他附帯事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失（△）の調整額△95,153千円は、セグメント間取引消去額859千円、のれんの償却額△25,413千円、その他の調整額60千円、全社損益△70,659千円を含んでおります。全社損益は、当社におけるグループ会社からの経営指導料及びグループ管理に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 その他の収益は「金融商品に関する会計基準」に基づく利息収入及び「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸料収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント					
	不動産事業	マンション 管理事業	賃貸事業	家具・家電 レンタル事業	ソフトウェア 事業	ファイナンス 事業
売上高						
一時点で移転される財	6,539,022	261,120	116,284	34,347	74,720	59,786
一定の期間にわたり移転 される財	7,473	978,687	65,569	—	54,684	962
顧客との契約から生じる 収益	6,546,495	1,239,808	181,853	34,347	129,405	60,748
その他の収益	27,237	—	696,896	367,460	—	105,391
外部顧客への売上高	6,346,042	1,105,644	809,567	382,688	127,050	164,787
セグメント間の内部売上高 又は振替高	227,690	134,163	69,181	19,119	2,355	1,351
計	6,573,733	1,239,808	878,749	401,807	129,405	166,139
セグメント利益	894,979	2,986	299,753	16,091	18,870	85,140

（単位：千円）

	報告セグメント	その他（注1）	合計	調整額（注2）	四半期連結損益計算 書計上額（注3）
	計				
売上高					
一時点で移転される財	7,085,281	280,130	7,365,412	△372,340	6,993,071
一定の期間にわたり移転 される財	1,107,377	286	1,107,663	△90,895	1,016,768
顧客との契約から生じる 収益	8,192,658	280,417	8,473,076	△463,236	8,009,839
その他の収益	1,196,985	7,775	1,204,760	△65,340	1,139,420
外部顧客への売上高	8,935,781	213,478	9,149,260	—	9,149,260
セグメント間の内部売上高 又は振替高	453,862	74,714	528,576	△528,576	—
計	9,389,643	288,192	9,677,836	△528,576	9,149,260
セグメント利益	1,317,821	29,490	1,347,311	△119,221	1,228,089

- （注） 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他附帯事業を含んでおります。
 2 セグメント利益の調整額△119,221千円は、セグメント間取引消去額△10,172千円、のれんの償却額△29,630千円、その他の調整額3,034千円、全社損益△82,452千円を含んでおります。全社損益は、当社におけるグループ会社からの経営指導料及びグループ管理に係る費用であります。
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 4 その他の収益は「金融商品に関する会計基準」に基づく利息収入及び「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸料収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。